

かしわ



No. 8 令和元年10月11日 色づき始めた学校のカキ

前期の学校生活が終了します

校長 北村 耕一

早いもので今年度の前期の学校生活が終わります。今年も暑い日が続きました。保護者の皆様も毎日、子どもたちの健康を心配していたと思います。私はいつも話していますが「健康」が一番大切だと思います。本校は、子どもたちの「健康」のことを考えて、前期と後期の間に休みがあります(10月15日～16日＝「学期間休業日」)。この休みは体調を整える時間です。生活リズムを崩さず10月17日(木)には元気に登校して来てもらいたいと思います。

また先生方の夏休みについて紹介は、この「かしわ」8号で最後になります。

私の夏休み

小学部 二宮 理恵

今年の夏休みは、いろいろなことに挑戦したものでした。その中でも、印象に残っていることは、上野動物園まで電車でかけたことでした。電車の中で泣き出したり、騒いだりしてしまったらどうしよう・・・落ち着いて座っていられるのかな!?考えれば考えるほど、心配ばかりでしたが、いざ出発。娘も息子も驚くほどにしっかりしていました。周りの同じような歳のお友だちが泣いていても、電車怖いのかな・・・と心配する余裕まで。知らないうちにしっかり成長しているのだなと感じました。

子どもたちはパンダなどの動物を見て大喜び大人は人の多さにワクワク。それでも子どもの笑顔が元気にさせてくれます。暑くて休みたい気持ちを我慢して、毎日外で遊んだ夏休みでした。

私の夏休み

高等部 藤田 紘子

一番の思い出は、95歳の祖母と母と3人で行った奥多摩への小旅行です。東京西部にある奥多摩は、青々とした山々に囲まれた自然豊かなところで、木陰に入ると風が心地よく、蝉の声が夏を感じさせてくれるような場所でした。

手打ちそばを食べたり、樹齢700年のご神木を見上げたり、溪谷の清らかな水の流れを眺めたり、これといった派手さはないのですが、ざっくばらんに話す何気ない会話は心地よく、久しぶりに家族でゆったりとした楽しい時間を過ごすことができました。

宿の布団の中で「あと何回一緒に旅行に行けるかな」と思いながら、「みんなが元気なうちにまた行こう!」と心に固く誓った夏休みでした。

私の夏休み

事務部 鈴木 暢子

2019年夏。34.6度の猛暑日の中、どこまで出来上がったろう?と気になっていた、新国立競技場を見に行ってきました。

スタジアムの設計は建築家・隈研吾氏。日本の木材を利用したデザインとだけあって、目に飛び込んできて、とても涼やかで心地よく、日本の素晴らしさを感じた瞬間でもありました。見学途中、記念撮影をしていた方と手話でお話する場面もあり、嬉しい時間も過ごすことができました。



2020年夏。いよいよ東京オリンピック・パラリンピック

の開幕です。1年後を楽しみに日々過ごしたいと思います。

(掲載写真は、猛暑の中を快く都内散策に同行してくれた友人が汗して撮影してくれた1枚。優しさに感謝する1日となりました)

幼稚部の交流を参観して

教頭 金子 亜希子

週に1回の保育園の交流が始まり、4ヶ月が経ちました。9月に保育園にて私も参観させていただく機会がありました。

保育園のドアを開けると、「〇〇ちゃん」と声をしながら、たくさんの友達が笑顔で出迎えてくれました。

園の活動のスピードは、大人である私も大変速く感じます。何年も在園している子ども達は、その行動パターンに慣れているようで、一人でトイレに行き、椅子を持ち、次々と身の回りの準備をします。わが校幼児も、みんなの様子を見ながら一生懸命に支度をしていきます。「こうやってやるんだよ。一緒に行く？一緒にやろう」と自然に声がかかり、楽しそうに活動を始めます。

食事の準備もとても大きなやかんに入った麦茶を注ごうと、園児たちが並び始めたので、思わず私は手を添えて手伝おうとしましたが、「大丈夫、僕たちできるよ」というので、ひやひやしながら見ていたら、慎重に慎重に、みんな見事に自分のカップに注いでいくではありませんか。

その他の場面でも、私は思わず手を出したくなるが多々ありましたが、園児それぞれ取り組むスピードは違っても、自分の力で終わらせようとしているのです。もちろんわが校幼児もみんなの様子を見ながら、一つひとつ丁寧に仕上げていきます。思わず拍手を送りたくなりました。

本校の日々の生活で、先生方と言葉を大切にしながら、楽しくコミュニケーションをとること、何度もやり取りを繰り返す中で言葉を習得していることは、大きな集団での生活に欠かせないものであることを学ばせていただきました。

お母さまが、迎えに来てくださったときに、溢れんばかりに、「今日はこれやったんだよ。

これもやったんだよ、、、」と笑顔で伝える姿を見て、こんなにたくさんの思いを持って今日1日過ごしていたんだなあ、心があたたかくなりました。

出前キャリア教育を行って

高等部 富山 馨太

9月19日(木)にキャリア教育出前授業として、大阪府にあるシャープ特選工業からお二人の講師が来校され、メーカーでの仕事「障がいがありながら働くということ」というテーマで、約2時間お話して下さいました。

会社での一日はどのように仕事をしているのかを入社から退社まで映像やパワーポイントで知ることができ、作業体験では箱の梱包作業で実際にしている仕事を体験することができました。二つのグループに分かれて、「どうすれば早く正確に作れるかな?」「誰がどの作業をする?」と小学部高学年から高等部までの皆で真剣に話し合い、他のグループに負けじと箱を大量に作る姿が見られました。

体験の後は、学生と社会人の違いについてのお話で、ルールを守らなかったらどうなるかや、大人になったときに基本的にできなければならないことを沢山教えてくださいました。学年によって社会に出る時期は違いますが、今回受けた授業を通して、働くときに大切なことを考えていって欲しいと思います。



10月後半の予定

詳細は学級・学部便りをご覧ください

10/15(火)～16(水)学期間休業日

17(木)後期始業式、給食開始

18(金)全校清掃：体育館

21(月)かしわ祭集中取り組み期間開始、

通級：保護者面談

24(木)幼稚部交流日

30(水)予行練習前日準備

31(木)かしわ祭予行練習